



【本号のトピックス】

日本老年歯科医学会第28回学術大会報告／委員会だより
(H28老健事業特任, 倫理審査)／歯科衛生士関連委員会主催セミナー
開催報告／国際学会参加報告／支部だより／学会だより

日本老年歯科医学会第28回学術大会が盛会裡に終了！

大神浩一郎

東京歯科大学老年歯科補綴学講座

さる2017年6月14日から16日の3日間、名古屋国際会議場にて、「治し支える歯科医療」というメインタイトルで第28回日本老年歯科医学会総会・学術大会が、第30回日本老年学会（総会）と同時開催されました。

今回は特別講演、教育講演以外にも、シンポジウムは7演題、さらに若い会員などのために3つの入門セミナーを開催しました。いずれの演題も素晴らしく、非常に充実した内容でありました。また7学会の合同学会らしく、17の合同シンポジウムも開催され、そのうち本学会から12のシンポジウムに演者が参加し、たいへん好評でした。さらに合同ポスター発表では、本学会から3つのファイナリスト演題がエントリーされ、活発な意見交換がなされました。

日本老年学会においては、初日には特別講演1「プラチナ社会の実現と活力ある長寿社会」というタイトルで、小宮山 宏先生（株式会社三菱総合研究所）がご講演されました。「これまでに人間はさまざまな努力をして、モノも情報も手に入り、移動も長生きもできるような豊かさを手に入れてきました。このような、量的な豊かさに

関しては、現代ではほぼ飽和状態になってきたと考えられ、これから人間が求めるのは質的な豊かさになってくると思われます。現在は労働者不足などといわれることもありますが、高齢者には65歳未満の人と比べても遜色なく元気である人も多いのが現状です。適性と能力と希望に応じて自由に働くことのできるような参加型社会をつくるのが、活力ある長寿社会をつくっていくことになる」という内容で、たいへん好評でした。

続いて、大島伸一先生が「『治し支える医療』へ向けて、医学と社会の大転換を」と題した日本老年学会総会会長講演を行い、最新の診療技術を追うだけでなく、高齢患者を支えるシステムづくりを早期に行わなければならないという、今回の大会にふさわしい内容でした。

第28回日本老年歯科医学会総会・学術大会は、最終的に過去最高の1,900人を超える方にご参加いただきました。誠にありがとうございました。

最後になりましたが、ご参加、ご協力いただきました先生方に厚く御礼申し上げますとともに、会場の混雑などでご不便をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

学術大会スナップ（その1）



日本老年学会総会における総会会長および7学会の大会長一同



櫻井 薫理事長と特別講演の演者 Cohen 先生



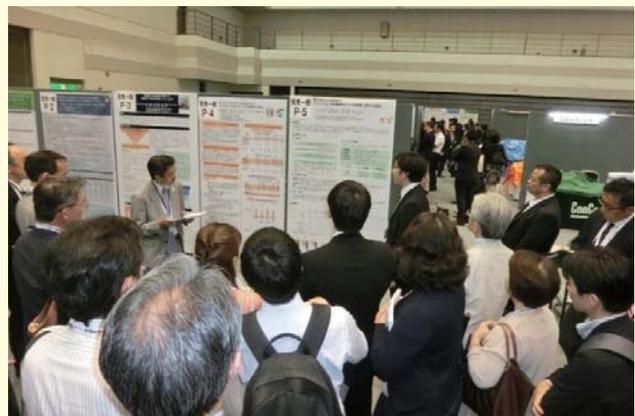
羽村 章副理事長と学術用語委員会シンポジウムの演者の先生方



櫻井 薫理事長と学術委員会シンポジウムの演者の先生方



支部組織・地域保健医療福祉検討委員会シンポジウムでの活発な質疑応答の様子



熱気あふれるポスター討論の様子

【学術用語委員会シンポジウムについて】

大会2日目、学術用語委員会主催にて、「歯科医学用語を考えるー『口腔ケア』って何ですか？研究者、医療者、行政、市民の立場から」というテーマでシンポジウムが開催されました。

まず、真木吉信委員長から「老年歯科医学用語辞典」編纂の歴史、「口腔ケア」という用語の問題点についてご講演いただいた後、本学会の編集委員および委員長を長きにわたり務められている深山治久先生より、学会発表や論文投稿における用語選択時の注意すべき点について、三浦宏子先生からは、行政の立場から今後の関連施策の動向を踏まえた新しい制度や用語の活用について、喜島智香子先生からは、患者さんが「医学用語についてどのように考えているのか」についてデータを提示してご講演いただきました。その後のパネルディスカッションでは各演者に対して多くの質問がなされ、熱い討論が行われました。（大神浩一郎）

【支部組織・地域保健医療福祉検討委員会シンポジウム開催報告】

大会3日目、支部組織・地域保健医療福祉検討委員会の初めての試みとして、「地域歯科医療から学会の役割を再考する」をテーマにシンポジウムを開催しました。支部

長会併催とし、佐々木 健先生（北海道上川総合振興局保健環境部保健行政室）、山崎猛男先生（宮城県歯科医師会）、高田 靖先生（東京都豊島区歯科医師会）、大西啓之先生（滋賀県歯科医師会）より、地域における取り組みについてご講演いただき、地域歯科医療の今後のあり方や学会との連携について、活発なディスカッションが行われました。（小原由紀）

【学術委員会シンポジウム「『口腔機能低下症』について理解を深めよう」開催報告】

2016年に学術委員会から発表された「口腔機能低下症」への理解を深めるために、学術委員会の水口俊介先生、松尾浩一郎先生が座長を務め、上田貴之先生、山本 健先生、池邊一典先生、古屋純一先生、津賀一弘先生、永尾 寛先生、田村文誉先生が演者として、口腔機能低下症の下位症状の診断について解説をしました。会場からは多くの質問が寄せられ、この新しい病名への関心の高さがうかがえました。この病名は現状のエビデンスを考慮したうえでのたたき台です。会員の皆様が、この診断法を用いて多くの研究を行い、エビデンスを構築し、より良い方向へ改善されていくことを望みます。

（金澤 学）

委員会だより

平成28年度厚生労働省老人保健
健康増進等事業特任委員会

委員長 渡邊 裕

日本老年歯科医学会は、平成28年度厚生労働省老人保健健康増進等事業「介護保険施設における歯科医師、歯科衛生士の関与による適切な口腔衛生管理体制のあり方に関する調査研究事業」を受託し、会員の皆様のご協力のもと、全国の14都道府県の介護保険施設37施設とその入所（入院）者1,886名、職員1,145名に対する実態調査を行いました。その結果、介護保険施設における週1回程度の歯科衛生士の配置は、入所者の適切な口腔衛生管理だけでなく、食事や栄養状態の維持改善に効果があることが示唆されました。本事業の結果により、介護保険施設と協力歯科医療機関との連携が深まり、施設への歯科衛生士の配置が促進されていくことが期待されます（詳細は、学会HPの「学会紹介」ページ内の「事業計画・事業報告」をご覧ください）。

また、本事業から要介護高齢者の歯科的対応の必要性に関するデータを、中央社会保険医療協議会の参考資料として厚生労働省に提出いたしました。

本事業にご協力いただきました会員ならびに施設の皆様に、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

倫理審査委員会

委員長 山崎 裕

倫理審査委員会は、独自の倫理審査委員会をもつ大学や病院などに所属されていない会員が行う「ヒトを対象とし

た医学研究」について、倫理研修や倫理審査を行うことを主な業務としています。昨今、ヒトを対象とした医学研究は、文部科学省と厚生労働省が定めた倫理指針に則って行われることが強く求められております。研究者は研究倫理に関する研修を受け、倫理審査委員会で研究の内容について審査を受け、承認されて初めて研究が開始できるようになっています。研究の発表の場である学術誌や学術大会でもそのことが求められます。本会の学術大会においても倫理審査に関する規程が設けられることになっております。

本会には倫理審査委員会のない組織に所属されている医療、介護関連など多職種にわたる会員が多く、これらの会員で、臨床研究を行っている、あるいは行いたいと考えておられる方も増えております。今後さらにそれらの研究活動が活発になっていくことは、老年歯科医学と本会の発展に大いに寄与するものと考えられます。

倫理審査は2017年度に本会初の申請があり、さらにもう1件申請がありました。実際に倫理審査を行ってみると、規程などにいくつかの改善すべき点が明らかとなり、委員会ですれらを修正しております。

もう一つ、委員会の主な業務に研修の実施があります。医学研究を行うためには研究倫理に関する研修を受けることが必修となりますので、学会としてその研修を会員が受けられるようにいたしました。本ニュースレターにも掲載しておりますが、申請していただければ、e-ラーニングを使っていつでもどなたでも受講できます。詳細はホームページをご覧ください。

倫理審査に関するお問い合わせは事務局を通じて委員会にお寄せください。マニュアルなども整備し、会員が受けやすい倫理審査を目指しております。

第4回歯科衛生士関連委員会主催セミナー開催報告

2017年6月17日(土)にTKPガーデンシティ名古屋新幹線口にて、「歯科衛生士の進め方 PARTⅢ」を開催しました。松山美和先生(徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔機能管理学分野教授)より、統計分析の基礎についてご講義をいただいた後、実際に統計ソフトを操作し、統計処理を実践する演習を行いました。歯科衛生士が学ぶ機会の少ない統計について、実践的に学ぶことができる機会となりました。今後も、歯科衛生研究を支援するセミナーを継続的に開催する予定です。

(小原由紀)



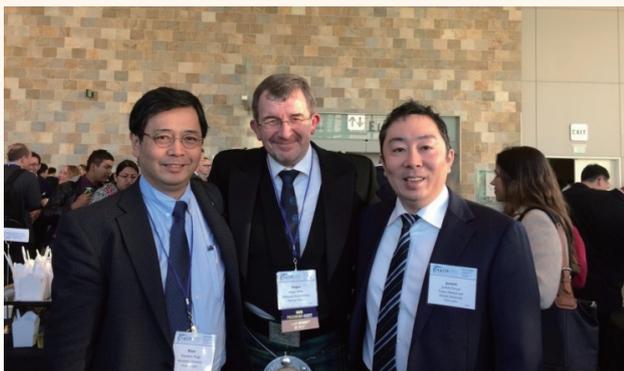
セミナーの様子

国際学会参加報告

International Association of Dental Research(IADR)に参加して

東京医科歯科大学 古屋純一

皆様ご存じの世界最大の歯科学会、IADRの第95回 General Sessionが、米国サンフランシスコにて2017年3月22～25日に開催されました。日本からの参加者も多く、学会場では、IADRの祝祭的要素に後押しされながら、熱気あふれる議論が繰り広げられておりました。老年歯科医学に関連する研究について、口頭発表、ポスター発表のどちらも、日本からの素晴らしい演題が数多くあり、日本老年歯科医学会が果たす役割を強く認識いたしました。第96回 General Session & Exhibition of the IADRは、ロンドンにて2018年7月25～28日に開催予定です。一般演題の締切は、2018年2月上旬です。詳しくはIADRのWebsiteにてご確認ください。



懇親会にて（左から広島大学・津賀先生、
次期 IADR 会長 Angus Walls 先生、古屋）

2017 Annual Conference of the European College of Gerodontology (ECG)に参加して

国際渉外委員長 小野高裕

2017年4月26～28日の3日間、地中海の中央に位置するマルタ共和国において、同地のマルタ大学歯学部 of the 主管による ECG が開催されました。今回は、ヨーロッパで人気のリゾートアイランドでの開催であったためか200人を超える参加者があり、「Overcoming barriers in oral health in later life」のテーマのもと、総計40題がすべて口演で発表されました。特筆すべきは、今回日本老年歯科医学会の櫻井理事長の招待講演のほか、日本から6演題が発表され、高齢者歯科先進国を印象付けたことです。来年は7月24日に、ロンドンで開催されるIADRの高齢者歯科部会(GORG)のサテライトミーティングと合同開催される予定です。



櫻井 薫理事長の招待講演

支 部 だ よ り

北海道支部主催セミナー 「第16回北海道口腔ケアセミナー」 開催報告

北海道支部 山崎 裕

2017年5月20日(土)北海道自治労会館にて、「第16回北海道口腔ケアセミナー」が開催されました(参加者188名)。角 保徳先生(国立長寿医療研究センター歯科口腔先進医療開発センター長)に「看護師や介護者に知ってほしい口腔の知識と口腔ケア」と題してご講演いただきました。その後看護師、歯科衛生士、歯科技工士の3人の先生に、それぞれの立場での院内の口腔ケアや地域連携の取り組みをご講演いただき、たいへん有意義なセミナーになりました。



会場風景

学会だより

2017年度各賞受賞者紹介

【老年歯科医学賞(渡邊郁馬賞)】

「Relationship Between Frailty and Oral Function in Community-Dwelling Elderly Adults」
Watanabe Y, Hirano H, Arai H, Morishita S, Ohara Y, Eda Hiro A, Murakami M, Shimada H, Kikutani T, Suzuki T. J Am Geriatr Soc. 2017 Jan;65 (1):66-76.

【優秀口演賞】

齋藤 翔(東北大学大学院歯学研究科加齢歯科学分野)
森下志穂(東京都健康長寿医療センター研究所)

【優秀ポスター賞】

白部麻樹(東京都健康長寿医療センター研究所)
加島正浩(公益社団法人武蔵野市歯科医師会)
五十嵐憲太郎(日本大学大学院松戸歯学研究科)

【優秀奨励論文賞】

岡田和隆(北海道大学大学院歯学研究科口腔健康科学講座高齢者歯科学教室)
佐藤茉莉恵(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科高齢者歯科学分野)

【学会功労賞】

井上農夫男(北海道大学大学院歯学研究科名誉教授)
森戸光彦(鶴見大学名誉教授)

学術大会スナップ (その2)



老年歯科医学賞 (渡邊郁馬賞)



優秀ポスター賞 (歯科衛生士部門)



優秀奨励論文賞



優秀口演賞①



優秀ポスター賞 (地域歯科医療部門)



学会功労賞



優秀口演賞②



優秀ポスター賞 (一般部門)



左上から時計回りに渡邊郁馬先生、
稲葉 繁先生、山根源之先生、
森戸光彦先生

臨床研究には、倫理審査と倫理研修が必修です！

今年度より本会では e-ラーニングによる倫理研修を導入いたしました。本会の正会員はどなたでも無料で受講可能です。なお、本会に倫理審査の申請を予定されている正会員は、研究倫理に関する研修の受講が必修となっております（本会以外の倫理研修でも問題はありません）。詳細は学会ホームページをご覧ください。

倫理研修 受講受付

各種認定制度（試験・更新）のご案内

下記の実施要項が「老年歯科医学」第 32 巻第 1 号および学会ホームページに掲載されております。該当する会員は確認をしてください。

- ・ 専門医、認定医制度指導医、専門医制度指導医 認定試験実施要項
- ・ 各種認定資格 更新申請の案内
- ・ 認定歯科衛生士（老年歯科） 審査・試験実施要項

支部セミナーのご案内

★詳細は、学会ホームページでご確認ください。

・長崎・宮崎・大分・鹿児島支部共催セミナー

「第 1 回九州老年歯科フォーラム in 宮崎」

会 期：2017 年 8 月 27 日（日）9:00～17:00

会 場：宮崎県歯科医師会館

テーマ：超高齢社会で求められる歯科医療とは？
～多職種連携を通じて～

主 催：（一社）全国在宅療養支援歯科診療所連絡会、
NPO 法人「オムスン」口腔管理支援ネット

・長野支部主催セミナー「ミールラウンドを極める」

会 期：2017 年 9 月 2 日（土）14:00～17:10

会 場：松本歯科大学 図書館

テーマ：ミールラウンドを極める

・岡山支部セミナー

「病院歯科介護研究会 第 20 回総会・学術講演会」

会 期：2017 年 10 月 15 日（日）9:40～16:00

会 場：岡山国際交流センター 8F イベントホール

テーマ：健・美・食 治し、支える歯科医療
～対人援助を意識する～

主 催：病院歯科介護研究会

平成 30 年度学術大会のご案内

今回の学術大会は、東京にて開催されます。皆様、ふるってご参加ください。

会 期：2018 年 6 月 22 日（金）～23 日（土）

会 場：きゅりあん（品川区立総合区民会館）（予定）

大会長：佐藤裕二



高齢者医療 臨床研修会のご案内

会 期：2017 年 10 月 1 日（日）

13:00～16:50

会 場：ホテルメルパルク大阪

4 階 ソレイユ

皆様のご参加をお待ちしております。



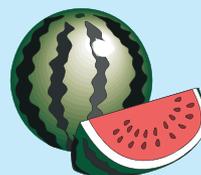
リーフレット絶賛配付中！！

口腔機能低下症に関するフライヤーおよび本学会の活動内容を紹介したリーフレットを作成しました。郵送希望の方は下記学会事務局宛ご連絡ください。



編集後記

ニューズレター No.28 をお送りします。本号では、日本老年歯科医学会第 28 回学術大会の報告とシンポジウムの演者の先生方、本学術大会で受賞された先生方のお写真を掲載いたしました。受賞された先生方の満面の笑みをお届けいたします。盛会裡に終了した第 28 回学術大会の雰囲気をご皆様にお伝えできれば幸いです。また、皆様からのご意見や身近な情報などをお寄せいただきますようお願い申し上げます。（伊藤誠康）



発行人 櫻井 薫
編集 (一社)日本老年歯科医学会広報委員会
事務局 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9
駒込TSビル (一財)口腔保健協会内
電話 03-3947-8891 FAX 03-3947-8341
E-mail gakkai30@kokuhoken.or.jp